

科目区分	専門基礎分野	単位数・時間数	単位 1	時間 2 4	開講時期	1年・後期
授業科目名	治療論Ⅲ (臨床薬理学)				授業形態	講義
担当教員	川崎美紀・中村光宏		実務経験	○薬剤師		
授業概要	薬理学の基礎知識と薬物療法について学び、薬物療法を受ける患者に対する看護師の役割と、安全対策を学ぶ。そして、薬物の人体へのはたらきと生体側の対応を理解し、疾患の原因をとらえ原因を除去するための薬の使用と作用を理解する。					
学習目的	薬理学の基礎的知識と薬物療法を学ぶ。薬理作用・副作用を医薬品の安全対策とあわせて理解し、薬物療法を受ける対象への看護の実践に必要な知識を学ぶ。					
到達目標	2.薬が作用するしくみが理解できる。 3.薬の体内動態が理解できる。 4.チームによる薬物治療と看護師の役割が理解できる。					
授業内容	1・2 薬理学を学ぶにあたって 薬理学の基礎知識  3・4 抗感染症薬  5・6 抗がん薬、免疫治療薬  7・8 抗アレルギー薬・抗炎症薬  9・10 末梢での神経活動に作用する薬物  11・12.中枢神経系に作用する薬物  13・14 循環器系に作用する薬物  15・16 .呼吸器・消化器・生殖器・泌尿器系に作用する薬物  17・18 物質代謝に作用する薬物、皮膚科用薬・眼科用薬  19・20 救急の際に使用される薬物  21・22 漢方薬、消毒薬  23・24 輸液製剤・輸血剤  終講試験					
評価方法	筆記試験					
教科書	系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進(3) 薬理学 第15版第7刷 医学書院 2025					
参考図書 等						
備考						

科目区分	専門基礎分野	単位数・時間数	1 単位	6 時間	開講時期	1年・後期
授業科目名	治療論Ⅲ (臨床検査)			授業形態	講義	
担当教員	椿安志		実務経験	○ 臨床検査技師		
授業概要	診療の場では多くの検査が実施され、診断するための重要な役割を果たしている。検査目的や検査方法等、検査内容と疾患とのつながりを理解する。臨床検査の基礎知識を習得し、検査時の看護師の役割について理解する。					
学習目的	臨床検査では検査の目的と検査値の読み方を理解する。反応や数値の示す意味を知り、病態と解剖生理の知識をつなげることで、臨床判断の基盤とする。					
到達目標	2.臨床検査における看護師の役割が理解できる。 3.臨床検査に伴う危険とその防止を理解できる。 4.セルフマネジメントの必要な患					
授業内容	1・2 臨床検査とその役割 3・4 おもな臨床検査 5・6 おもな臨床検査、おもな検査項目と基準値 終講試験					
評価方法	筆記試験					
教科書	系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 第10版 第3刷 医学書院 2025					
参考図書 等						
備考						